



令和4年7月14日

MFJ 公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

2022 国内競技規則 スロットルホルダーに関する規則の改定・追加について

スロットルホルダー変更に関する規則表記が、本来の規則適用内容を端的に表現できていないため、以下の内容で規則を改定する。 この規則の適用は、即時適用とする。

1. ST1000/ST600/JP250 技術仕様の規則変更について

- ① ST1000 技術仕様 7-3-11-2 ST600 技術仕様 7-3-11-2 JP250 技術仕様 7-3-11-2

二重線の削除

7-3-11-2 ブレーキレバー／クラッチレバー（ホルダーを含む）および~~ブレーキ／クラッチケーブル／スロットルケーブル~~の変更は認められる。

- ② ST1000 技術仕様 7-3-11-4 ST600 技術仕様 7-3-11-4 JP250 技術仕様 7-3-11-4

二重線の削除 と 赤字部分の追加

7-3-11-4 ~~ハイスロットルのためのスロットルホルダー~~の変更  
スロットルホルダー（ハウジング）およびスロットルケーブルの変更または改造が認められる。  
スロットルホルダー（ハウジング）とスイッチ1体式のものは別体式のホルダーへの変更も認められる。

ハイスロットルへの変更以外にもスロットルホルダー（ハウジング）の変更が認められる。

2. JSB1000 技術仕様の規則変更について

新規追加規則

- 7-24-8-12 スロットルホルダー（ハウジング）およびスロットルケーブルの変更または改造が認められる。  
スロットルホルダー（ハウジング）とスイッチ1体式のものは別体式のホルダーへの変更も認められる。
- 7-24-8-13 ブレーキレバー／クラッチレバー（ホルダーを含む）およびクラッチケーブルの変更は認められる。

以上